



「ふるさとへの想い発表会」では、宮田村民会館で宮田中1年生が堂々と伊南地域の素晴らしさを、そして郷土に対する想いを発表しました

Pick Up ふるさとへの想い発表会

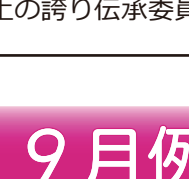
9月5日(木)に、「ふるさとへの想い発表会」を宮田村民会館にて開催しました。宮田中学校1年生がこれまで「出前ふるさと教育」、「地域資源体験ツアー・学びの発表会」を経て学んできた伊南地域の素晴らしさを、地域の方々に発表しました。

各市町村ごとに自分たちでまとめたプレゼン資料を作成し、グループごとに地域資源を体感することで得た学びと考えを一人ひとり自分の言葉で伝えました。

各市町村の発表の後に、ふるさとへの想い発表と題し、中学生がこれまでの事業を通じて感じてきたことを発表しました。

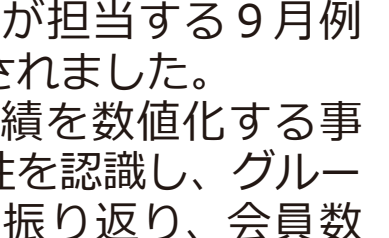
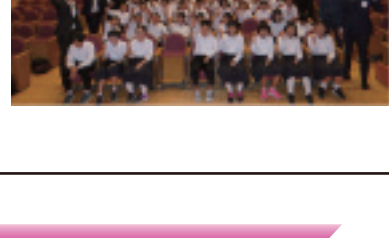
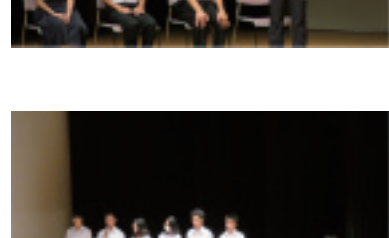
最初出会った頃は都会で活躍しているイメージを持っていた中学生が、将来は地元へ帰ってきたい、地元を活性化することを考えていきたい、地域の資源を守っていききたいといったような郷土に大事にする気持ち、そして地域貢献の想いを自らが言葉で語りました。

これまでの事業を通じて、郷土に誇りを持った人材を地域に育むことができました。

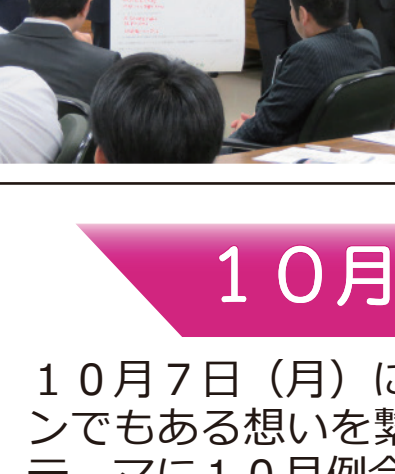


松崎貴彦君
郷土の誇り伝承委員会

子供たちと伊南地域について学ぶことで、地域資源について自分自身も勉強になり良い経験でした。発表会に参加し、子供達の成長と地域資源の大切さを実感することができ、大勢の方々に伝えることができた素晴らしいプレゼンだったと思います。



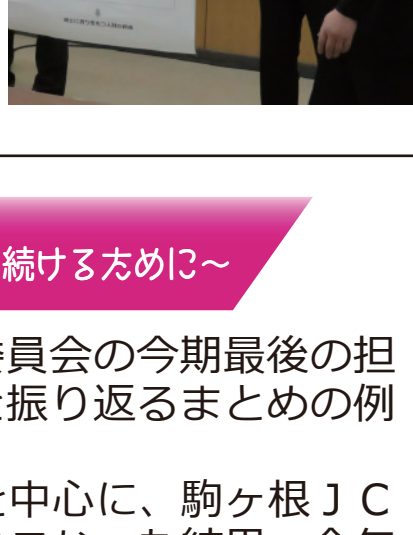
9月例会 会員拡大ビジョンを創ろう！～未来を見据えた会員拡大を行うために～



9月9日に輝く人材拡大委員会が担当する9月例会が、駒ヶ根商工会館にて開催されました。委員会発表では、会員拡大の実績を数値化する事で、メンバーが会員拡大の必要性を認識し、グループワークでは、今年度の活動を振り返り、会員数が減ってしまうとどうなるか、増える事で駒ヶ根青年会議所がどのようになるか考え、拡大ビジョンを作成しました。人を惹き付ける魅力的な人材になるために、未来を見据えた会員拡大を行う意識を持つことができました。

10月例会 想いを繋ぐ～未来への懸け橋となれ～

10月7日(月)に郷土の誇り伝承委員会スローガンでもある想いを繋ぐ～未来への懸け橋となれ～をテーマに10月例会を開催しました。郷土の誇り伝承委員会が一年間活動してきた成果を検証し、中学生が想定以上の郷土への想いを抱いたことを発表し、その後末就学児から大学生の各世代に郷土の誇りを伝承できる方法を、ターゲットを世代ごとわけグループワークにより検討し、発表しました。検討した結果を発表することにより、メンバーは郷土の誇りを地域の次代を担う全ての世代に伝承できることを理解することができました。



11月例会 会員拡大を繋ごう！～地域に必要な団体であり続けるために～



11月例会は、輝く人材拡大委員会の今期最後の担当例会ということで、1年間を振り返るまとめの例会となりました。輝く人材拡大委員会メンバーを中心に、駒ヶ根JCが一丸となり会員拡大活動をおこなった結果、今年度は18名の新たな会員を迎え入れました。しかし、その栄光の裏では苦労や課題も多く、本例会ではそうした困難に立ち受かったエピソードを聞き、大町JCシニアである大竹真千子先輩のお話をお聞きし、次年度もさらなる組織拡大へと繋ごうと会員全員が決意を固めました。

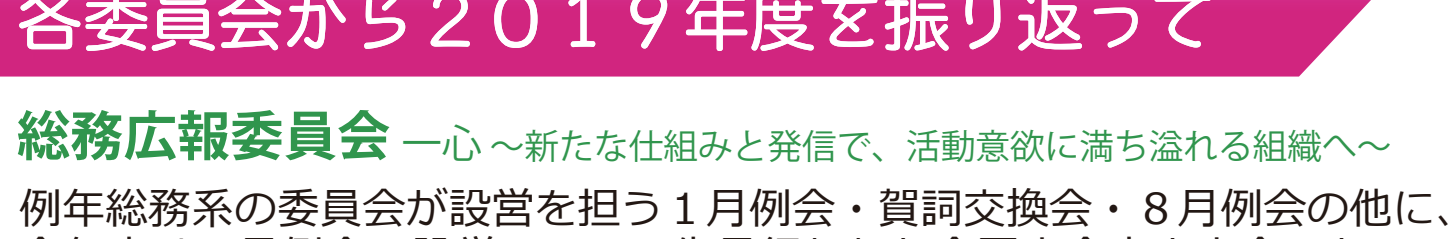
(公社) 日本青年会議所第68回全国大会富山大会 オープニングSDGs TOYAMA FOOD FESTIVAL ブース出展

10月11日(金)、富山市で行われた日本JC全国大会富山大会のオープニングイベントに駒ヶ根青年会議所が出展、伊南4市町村のポスターを掲示し、飯島を代表する食文化の馬刺し、駒ヶ根・養酒工場のクラフトジン「香の雫」を使用した「こまがねジントニック」、本坊酒造「TWIN ALPS」を使用した「アルプスハイボール」を全国の青年会議所会員に振る舞い、視覚と味覚で伊南地域を知っていただきました。



2019年度 卒業生紹介

青年会議所の特性として20歳～40歳という年齢制限があり、駒ヶ根青年会議所でも、今年で満40歳を迎えられた5名の会員が、2019年12月をもって駒ヶ根青年会議所を卒業されます。これまでのご尽力に感謝いたします。ご卒業おめでとうございます。



各委員会から2019年度を振り返って

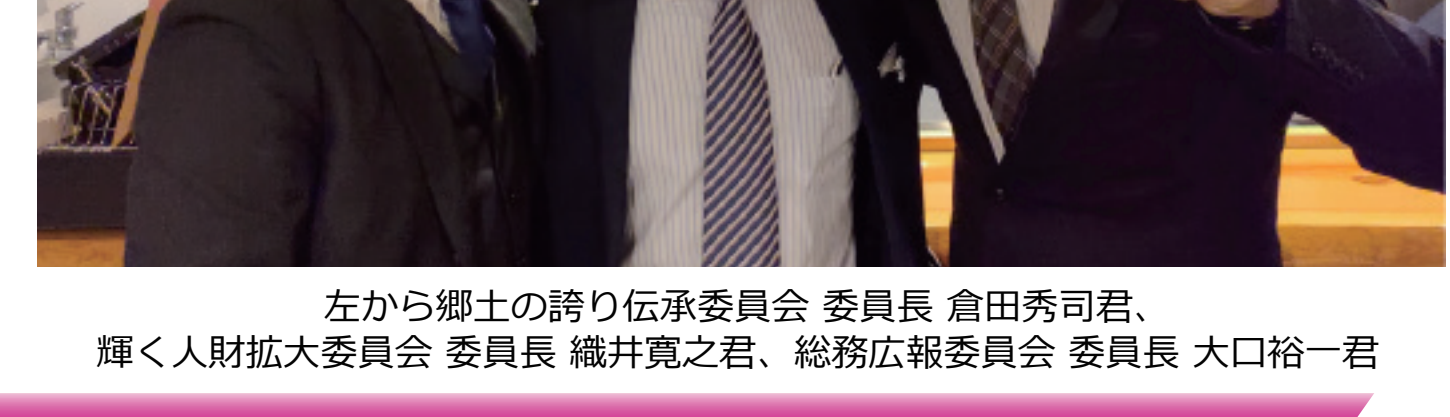
総務広報委員会 一心～新たな仕組みと発信で、活動意欲に満ち溢れる組織へ～
例年総務系の委員会が設営を担う1月例会・賀詞交換会・8月例会の他に、今年度は5月例会の設営、そして先月行われた全国大会富山大会においては、伊南地域の特色を生かした食材を振る舞い、伊南地域を全国の青年経済人に知っていただきました。新たな情報発信を模索しながらの1年、良かったところもあれば課題も見つかりました。駒ヶ根青年会議所が存在する限り、総務の仕事、そして情報発信は終わりません。次年度以降にそのノウハウを受け継いでいけたらと考えています。

輝く人材拡大委員会 同志団結～会員拡大を通じて輝こう～

輝く人材拡大委員会では、会員拡大を通じて連帯感や達成感を得ることで、JC活動に自信がつき、人を惹きつける魅力的な人材になるように取り組みました。例会を5回担当させていただき、会員拡大の必要性の理解から実践に移すための決意、会員拡大を推進める為に、講演を傾聴し拡大方程式を習得しました。さらにJCの魅力発見と題して、メンバーによるパネルディスカッションも企画し、1名の入会に至りました。会員拡大を単年度の活動にしない為に、会員拡大ビジョンを作成し、数値的な観点から長期的に分析し、目標を設定することで、メンバーの会員拡大意識の向上に繋がりました。検証例会ではこれからの組織のあり方を講演を通じて傾聴し、次年度へ繋がる例会が開催できました。一年間を通じて、会員拡大の実践プロセスが自己成長に繋がることを学べました。一年間ありがとうございました。

ふるさと 郷土の誇り伝承委員会 想いを繋ぐ～未来への懸け橋となれ～

郷土の誇り伝承委員会では、スローガン「想いを繋ぐ～未来への懸け橋となれ～」のもと、伊南地域の子供達とともに活動をおこなって参りました。まずは、自分達が住まうこの郷土について深く知ろうということで、出前ふるさと教育を企画し、子供達に社会問題を抱えた地域の姿、郷土を好きな人が集まると地域はどうなるか考え、活力ある未来を想像しました。そこから、今私達にできることは、郷土を深く知り、学ぶことが必要であるという考えに至り、地域資源体験ツアーを開催し、今まで経験したことのない地域の魅力を体感しました。さらに、体験したことをアウトプットし、地域に体験ツアーで得た学び、郷土への想いを発信しました。駒ヶ根青年会議所メンバーは地域の未来、地域資源を知る機会の中で、子供達一人ひとりと向き合い、今まで持つことのでなかった「郷土への想い」が引き出すことができ、郷土に誇りをもつ人材の育成というゴールに辿りつくことができ、実り多き一年となりました。



左から郷土の誇り伝承委員会 委員長 倉田秀司君、輝く人材拡大委員会 委員長 織井寛之君、総務広報委員会 委員長 大口裕一君

ともに活動しませんか？

駒ヶ根青年会議所では、青年ならではの視点で伊南地域の課題に向き合い様々な活動を行っています。地域貢献をしたい！自己研鑽したい！地域の様々な業種や立場の人との繋がりをつくりたい！様々な「機会」を掴み取りたい！といった20歳から39歳までの、伊南地域にお住まいもしくは勤務している方を募集しています。

詳しくは (一社) 駒ヶ根青年会議所 事務局
TEL:(0265)83-5475 FAX:(0265)83-5175